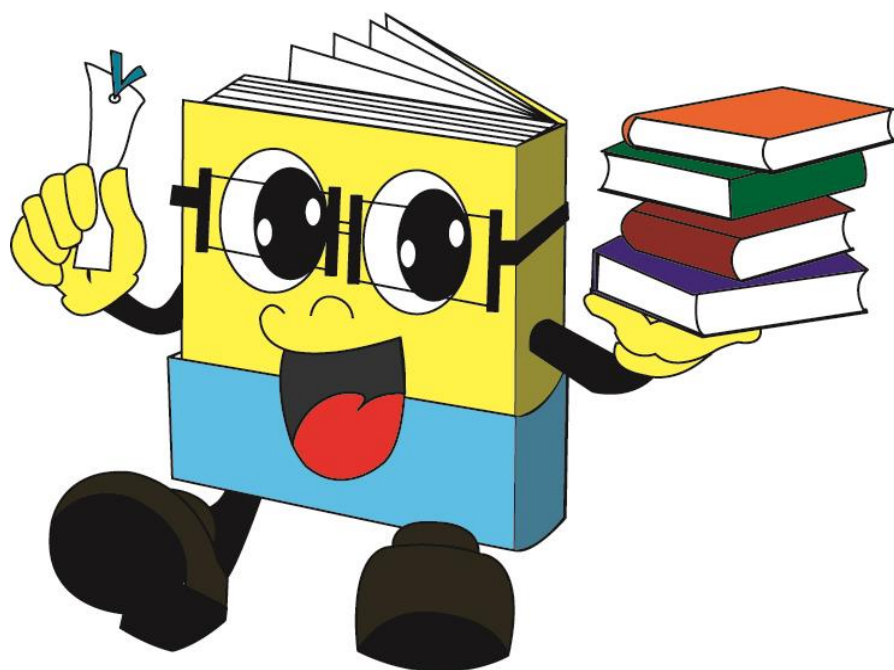


令和 5 年度

図書館要覧



四万十市読書活動推進キャラクター 「ぶっくん」



四万十市立図書館

Tel 0880-35-2923

四万十市立図書館

高知県四万十市中村大橋通 4 丁目10

Tel 0880-35-2923 Fax 0880-35-2960

西土佐分館

高知県四万十市西土佐江川崎2445-2

Tel 0880-52-2888 Fax 0880-52-2888

目 次

I	利 用 案 内	1
II	図書館概要（組織・資料等の概要）	2
III	サービスの状況	3
IV	令和5年度運営方針	8
V	令和5年度予算	10
VI	資 料	
	図書館沿革	11
	参考 図書館サービス実績（指標）	13

** 施設の概要 **

名 称	四万十市立図書館
所在地	四万十市中村大橋通4丁目10番地（市庁舎2階部分）
床面積	1,162.09㎡（2階部分）
建物構造	鉄筋コンクリート7階建
建 築	平成22年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	50席
特 別 室	郷土資料展示室、レファレンス室、グループ学習室、多目的ホール、おはなしの部屋

名 称	四万十市立図書館 西土佐分館
所在地	四万十市西土佐江川崎2445番地2（西土佐総合支所1階）
床面積	175.15㎡（1階南側部分）
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
建 築	平成26年3月31日
設 備	冷暖房空調
閱 覧 室	12席

I 利用案内

令和5年4月1日現在

- 1 開館時間 本館：9時～19時 / 分館：10時～18時
- 2 休館日 館内整理日(毎月最終金曜日)、蔵書点検日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 3 利用案内
- * 利用は無料です。
 - * どなたでも閲覧できますが、館外に持ち出す場合には登録が必要です。
 - * 予約・リクエスト・読書相談・レファレンス・資料の複写(有料：著作権法の範囲で)にも応じています。
 - * パスワードの発行を受ければ、インターネットを介して予約ができます。
- 4 館外貸出
- * 登録が必要です。
 - ①四万十市に住んでいる方
 - ②四万十市に通勤、通学している方
 - ③四万十市の近隣市町村に住んでいる方(職員にお問い合わせください)

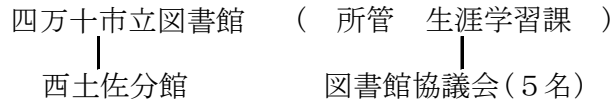
- 5 貸出限度冊数
(個人の場合)

メディア	貸出期間	貸出冊数(貸出券1枚)
① 本/紙芝居/絵本	2週間	10冊まで
② 雑誌		5冊まで
③ ビデオ/DVD/CD		2点まで

- * 原則、新聞/図鑑/事典/官報等の館外貸出はできません。(禁帯出シール付きのもの)
- 6 予約
- * 1人5冊まで貸出希望を受付けます。(所定の用紙に記入をして下さい。)
- 7 リクエスト
- * 所蔵していない資料を購入します。もしくは他の図書館から借ります。(所定の用紙に記入をして下さい。)(内容の似た本があれば、購入をお断りすることがあります。)
- 8 団体貸出
- * 学校や保育園、職場や地域で利用を希望される方に貸出します。(基本は1ヶ月間で100冊程度ですが、相談に応じます。)
- 9 レファレンス
- * いろいろな調べものをお手伝いします。簡単な質問には、その場で相談に応じます。内容によっては後日回答をさせていただくことになります。
 - * 適当な資料を所蔵していない場合は、他の専門機関を紹介します。
 - * 特定の方に利益・不利益をもたらす質問には応じられません。(クイズの答え、学校の課題・宿題、絵画・骨董の鑑定など)
 - * 医療・法律問題については応じません。
- 10 その他
- * AVブース(本館：4席 分館1席)、情報公開端末(本館3台 分館3台) 拡大読書機(1台)
 - * 多目的ホール、グループ学習室
 - * 壁面展示スペース、郷土資料展示室、おはなしの部屋など
 - * 公衆無線LAN利用可能

II 図書館概要

1 組織



2 名簿

(1) 生涯学習課 (R5. 4. 1現在)

職名	氏名	備考
課長	戸田 裕介	
課長補佐	安岡 栄治	
公民館運営係長	岡本 安代	
主幹	清水 美保	
兼務)分室長	大原 直文	
兼務)主幹	武内 直樹	

(2) 図書館職員 (指定管理者 株式会社 図書館流通センター)

四万十市立図書館 本館 職員12名

館長(司書) 館長補佐(司書) スタッフ10名(うち司書5名)

四万十市立図書館 西土佐分館 職員5名

館長(本館兼務) 館長補佐 スタッフ3名

(3) 四万十市図書館協議会委員 (R3. 10. 1~R5. 9. 30)

職位	氏名	区分
委員長	中平 晋祐	学識経験
副委員長	岡 郁美	学識経験
委員	岡添 眞子	社会教育
委員	酒井 和博	学識経験
委員	池田 真代	学校教育

3 所蔵資料等 (本館・分館合算) (R5. 3. 31現在)

蔵書総数 172,298 冊 (本館 154,189冊、分館 18,109冊)

(開架冊数 97,950 冊)

- ・児童図書 45,872 冊
- ・郷土資料 15,508 冊

市民1人当り蔵書冊数 5.35 冊 (人口 32,225 人)

年間購入図書 4,364 冊 (受入数 5,240 冊)

雑誌購入数 168 誌 (受入数 176 誌)
(本館 143 誌 分館 33 誌)

新聞購入数 12 紙 (受入数 20 紙)

視聴覚資料

- ・ビデオテープ、DVD 1,395 本 ・紙芝居 609 組
- ・カセットブック 502 点 ・郷土関係写真 1,600 枚

4 貸出登録者数 4,285 人 (市外登録者 594 人)

5 年間開館日数 本館：341 日 / 分館：345 日

Ⅲ サービスの状況

1 貸出

(1) 登録者数(登録更新者も含む) (R2. 4. 1~R5. 3. 31) 人

	本館	分館	合計
一般	3,292	210	3,502
中学生	175	6	181
小学生	404	39	443
幼児	147	12	159
合計	4,018	267	4,285

*市外登録者 594 人

(2) 来館者数・貸出者数 (R4. 4. 1~R5. 3. 31) 人

	来館者数		個人貸出者数	
	本館	分館	本館	分館
一般			25,624	2,292
中学生			630	20
小学生以下			3,383	394
小計	99,923	5,984	29,637	2,706
合計	105,907		32,343	

(3) 個人貸出数 (R4. 4. 1~R5. 3. 31) 点

	図書雑誌類		視聴覚資料	
	本館	分館	本館	分館
一般図書	73,154	4,333		
児童書	39,473	4,710		
雑誌	10,833	1,020		
小計	123,460	10,063	2,780	676
合計	133,523		3,456	

136,979 点

市民1人当たり資料貸出点数 4.25 点

2 団体貸出(巡回文庫含む) (R4. 4. 1~R5. 3. 31) 点

	貸出団体数	貸出回数	貸出冊数
一般団体等	18	88	1,673
一般(団体文庫)	4	44	1,464
保育所(巡回文庫)	19	222	6,162
小学校(巡回文庫)	10	101	6,065
中学校(巡回文庫)	6	33	972
合計	57	488	16,336

3 予約

予約・リクエスト件数 計 6,378 件
 (本館 5,596件 分館 782件 うちネット予約 1,891件)
 一般図書、児童図書 5,411 件
 雑誌 931 件
 視聴覚資料 36 件

4 参考業務 計 1,780 件

5 相互貸借

・借受冊数 計 1,385 冊
 高知県立図書館・高知市民図書館 1,247 冊

土佐清水市立市民図書館	5冊
宿毛市坂本図書館	11冊
その他の県内図書館	85冊
県外図書館	37冊

・貸出冊数	計	173冊
県内図書館		154冊
県外図書館		19冊

6 資料複写（有料 白黒@10円 カラー@20円） 1,234 枚

7 継続事業の実施状況

(1) 本館

① 企画展示（月間テーマ・随時） 一般・児童・ティーンズ・郷土
スタッフおすすめ等

② 絵本の読み聞かせ 毎週日曜日 10:20～11:00
開催回数 30回
参加者 子ども 125人
大人 77人
読み聞かせボランティア登録者 11人

③ ブックスタート（10ヶ月健診時に実施）
中村地域（毎月） 乳児 156人

④ 巡回文庫 保育所・小中学校・地域

⑤ 職場体験学習（キャリア体験事業） 中学生5人（2校）

⑥ 図書館見学 小学生188人（10校）

⑦ こどもの読書週間行事

読書ラリー「ブラインドブック」 4月25日（月）～

⑧ 出張読み聞かせ等 大用小学校読書祭り 11月11日（金） 児童22人
竹島小学校読書祭り 11月25日（金） 児童61人
幡多青少年の家事業（おはなし会の部） 11月19日（土）・12月3日（土）
親子38人
保育所 12か所 随時 1,211人（27回）
未就学児対象 1か所 年2回 乳児27人（保護者同伴）

⑨ 図書館だより 毎月発行
こどもとしゃかんだより 毎月発行

(2) 西土佐分館

① 企画展示（月間テーマ・随時） 一般・児童・スタッフおすすめ等

② 絵本の読み聞かせ 毎月1回 川崎保育所 園児400人（10回）
毎月1回 未就学児対象（ぴよっこくらぶ） 乳児19人（10回）
毎週 水・土・日曜日 開催回数 44回
参加者 子ども 56人
大人 5人
読み聞かせボランティア登録者 2人

- ③ ブックスタート（乳児健診時に実施）
西土佐地域(3か月に1回) 乳児 5人
- ④ 団体文庫サービス（配本サービス） 高齢者施設・障がい者施設・地域
- ⑤ 図書館見学及び職場体験
小学生（図書館見学会） 小学生9人（1校）
中学生（職場体験学習） 中学生2人（1校）
- ⑥ こどもの読書週間行事
子ども向け行事「はるのおはなし会」 4月23日（土）
- ⑦ 分館だより 毎月発行

8 自主事業の実施状況

(1) 児童へのサービス等（本館）	実施日	参加人数	
① むいぐるみとしゃかんおとまりかい	4月16日～17日 (土・日)	子ども 大人	8人 5人
② 子ども映画会	6月12日(日) 3月12日(日)	子ども 大人 子ども 大人	18人 11人 6人 4人
③ ロボットプログラミング講座	7月 2日(土)	子ども 大人	10人 5人
④ 子ども図書館員体験講座	7月23日～24日 (土・日)	子ども	4人
⑤ 夏のこわ～いおはなし会	8月 7日(日)	子ども 大人	16人 8人
⑥ 工作教室 「ガチャガチャマシーンをつくろう」	9月 4日(日)	子ども 大人	7人 6人
⑦ ティーンズ講座 「羊毛フェルトでころっとマスコット作り」	11月 12日(土)	中学生 高校生	1人 7人
⑧ 英語で楽しむおはなし会	▶ 幼児の部	子ども 大人	10人 10人
	▶ 小中学生の部	子ども 大人	8人 4人
⑨ 読み聞かせボランティア情報交換会・研修会	12月 9日(金)	大人	9人
⑩ クリスマスおはなし会	12月 25日(日)	子ども 大人	14人 10人
⑪ 節分おはなし会	1月 29日(日)	子ども 大人	13人 7人
⑫ 企画展示及び特集展示、本の福袋	毎月		
⑬ 読書通帳の配布			
⑭ 読書ラリー「ブラインドブック」	春夏編、秋冬編		
⑮ 赤ちゃん向け「おすすめ絵本」リスト作成・配布			
⑯ 高知みらい科学館モバイルミュージアム展示	年3回		

(2) 一般向けサービス（本館）	実施日	参加人数	
① 地域連携事業 「図書館×天神橋フェスティバル」	5月 5日(木)	市民	約100人

② 映画上映会	6月18日(土)	大人	9人
	10月15日(土)	大人	24人
③ ロボットプログラミング講座	7月 2日(土)	大人	4人
④ バリアフリー上映会	8月 6日(土)	大人	12人
⑤ 多文化講座「韓国語講座」	9月 4日(日)	大人	6人
⑥ 親子講座 「親子で楽しく作る羊毛フェルトオーナメント作り」	12月 3日(土)	子ども	4人
		大人	5人
⑦ 企画展示及び特集展示、本の福袋、ブックリスト作成	毎月		
⑧ 俳句ポスト	毎月		
⑨ 雑誌・図書リサイクル	毎月		

(3) 西土佐分館のサービス	実施日	参加者	
① はるのおはなし会	4月23日(土)	子ども	8人
		大人	6人
② 生涯学習講座「麻ひもで作るプラントハンガー」	5月21日(土)	大人	7人
③ セタおはなし会	6月25日(土)	子ども	7人
		大人	4人
④ 生涯学習講座「しまんと新聞ばっぐを作ろう」	7月23日(土)	大人	11人
⑤ 映画上映会	8月 6日(土)	▶ 子ども向け	子ども 11人
			大人 3人
		▶ 一般向け	大人 10人
		▶ 一般向け	3月19日(日) 大人 9人
⑥ 生涯学習講座「木工教室」	9月25日(日)	大人	9人
⑦ ハロウィンおはなし会	10月30日(日)	子ども	11人
		大人	6人
⑧ 生涯学習講座「消しゴムはんこ教室」	12月 4日(日)	大人	9人
⑨ クリスマス会	12月25日(日)	子ども	11人
		大人	3人
⑩ 節分おはなし会	1月29日(日)	子ども	7人
		大人	2人
⑪ 生涯学習講座「しまんと新聞ばっぐ作り」	2月18日(日)	大人	12人
⑫ 企画展示及び特集展示、本の福袋、ブックリスト作成	毎月		
⑬ 高知みらい科学館モバイルミュージアム展示	年3回		
⑭ 俳句ポスト	毎月		
⑮ 雑誌リサイクル	毎月		

9 館内の環境改善等（本館）

- (1) 投書箱、お便りコーナーの設置
- (2) ブックシャワーの設置
- (3) 耳マーク、コミュニケーションボード、筆談ボードの設置
- (4) ウェルカムボードの設置
- (5) 館内表示及び見出し板の整備
- (6) 利用者アンケートの実施（本館・分館）
- (7) ティーンズ向け広報誌の作成
- (8) フェイスブック、ツイッターによる情報提供
- (9) 四万十川コーナーの設置（一般・児童）

- (10) ビジネス支援コーナーの設置
- (11) 市内全小学校への「TOOLi-S」の導入
- (12) デジタルサイネージの設置
- (13) 図書館ホームページリニューアル
- (14) 子育て応援SNS（自治体連携）による絵本の紹介
- (15) 無料Wi-Fiサービス開始（本館・分館）
- (16) 館内照明LED整備
- (17) 窓ガラス紫外線防止フィルム設置（分館）

IV 令和5年度運営方針

〈基本方針〉

生涯学習を支援する機関として、指定管理者との連携のもと市民の求める資料の収集に努め、図書館サービスの充実を図ります。また、「子ども読書活動」を推進し、本好きな子どもの育成に努めます。

○ 運営方針

読書で育てる豊かな心
読書で磨く豊かな教養
読書で満たす豊かな人生



- ・ 県立図書館や学校等との連携
- ・ 図書館と家庭等との協働
- ・ 図書館とボランティアとの連携

《重点施策》

- 1 効果的な資料の収集と提供
- 2 全市民への図書館サービスの充実
- 3 子ども読書活動の推進
- 4 利用率の引き上げ
- 5 指定管理者による事業展開

(具体的方策)

- 1 効果的な資料の収集と提供
 - (1) 参考図書（一般教養程度）の充実に努めます。
 - (2) 行政資料（パンフレット・読本等）の収集に努めます。
 - (3) 郷土資料・地震・水害資料等の収集に努めます。
 - (4) 県立図書館や他市町村の図書館との連携により、効果的な図書等の提供に努めます。
- 2 全市民への図書館サービスの充実
 - (1) 大活字本（高齢者・弱視者への対応）やDVD等視聴覚資料の積極的収集に努めます。
 - (2) 来館が難しい方への対応として、地域の集会所等への配送サービスや団体貸出を拡充します。
 - (3) リクエストによる図書の購入など、より市民ニーズにあった図書を確保します。
 - (4) さまざまな分野や各世代向けの図書の確保を図ります。
 - (5) 巡回文庫や団体貸出の充実に努めます。

3 子ども読書活動の推進

- (1) 「第三次四万十市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に応じた読書活動の機会の充実のため、関係機関と連携を図り、更なる子ども読書活動の推進と普及に努めます。
- (2) 誰もが自分にあった形で読書を楽しみながら、様々な情報資源の中から必要となる情報を読み取り、活用することができるように取り組みます。
- (3) 「子ども読書の日」（4月23日）のPRに努めます。
- (4) 乳幼児・児童・生徒の読書（ブックスタート・絵本を親しむイベント）や絵本の読み聞かせを推進するとともに、これから子育てを始める妊婦に対する啓発も行います。
- (5) 読み聞かせボランティアの育成を図ります。

4 利用率の引き上げ

- (1) 意見投書箱や利用者アンケート等を通じて利用者の要望などを把握・分析し、利用者の声をできるだけ反映させることにより、利用率の向上を図ります。
- (2) インターネットによる図書検索や予約システムなどのPRに努めます。
- (3) 多彩な雑誌の積極的収集に努めます。
- (4) DVD等多様な視聴覚資料の収集に努めます。
- (5) ホームページを活用し、図書館情報の提供・充実に努めます。

5 指定管理者による事業展開

市の方針に沿って指定管理者による事業を展開し、サービス向上をめざして図書館運営を行います。

(指定管理者の事業基本方針)

「四万十市の自然・歴史・文化を保存・発信し、市民の活動による四万十市の新たなきらめきを創出する図書館」を目指す図書館像とし、以下の6つをサービスの方針として事業を展開します。

- (1) 市民が集い、学び、憩う図書館を目指します
- (2) 学校等と連携し、子どもたちの「生きる力」を育てます
- (3) 市民や地域の課題解決を支援します
- (4) 地域と連携した様々な事業を展開し、市民の知的好奇心を喚起します
- (5) 四万十市の文化・歴史・自然を保存・発信し、市民の地域への愛情を高めます
- (6) 郷土四万十川コーナーを拡充し、地域と連携して四万十川を題材にした事業を行うなど特色のある図書館づくりを目指します

V 令和5年度 予算

(単位：千円)

科目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
図書館費	56,429	56,336	93	0	0	25	56,404

図書館費（内訳）

(単位：千円)

節	金額	説明	
報酬	50	図書館協議会委員 4名分	40
		子ども読書活動推進委員	10
旅費	9	費用弁償	9
需用費	461	印刷製本費	315
		燃料費	38
		修繕費	108
役務費	214	電話料	150
		読書ボランティア傷害保険料	64
委託料	53,509	管理運営委託料	52,954
		図書館管理運営システム保守委託料	555
使用料及び借料	2,132	図書館システム使用料	1,842
		図書館データベース使用料	290
負担金補助金及び交付金	47	日本図書館協会負担金	37
		高知県図書館協会負担金	10
公課費	7	自動車重量税	7
合計	56,429		

- * 資料費(R 5) 11,306 千円 (対前年比 100.0%)
 (うち図書費 8,610 千円 新聞・雑誌 2,146 千円
 DVD・CD等 550 千円)
- * 資料費(R 4) 11,306 千円 (対前年比 100.0%)
 (うち図書費 8,610 千円 新聞・雑誌 2,146 千円
 DVD・CD等 550 千円)
- * 資料費(R 3) 11,306 千円 (対前年比 99.6%)
 (うち図書費 8,656 千円 新聞・雑誌 2,100 千円
 DVD・CD等 550 千円)
- * 資料費(R 2) 11,343 千円 (対前年比 101.3%)
 (うち図書費 8,652 千円 新聞・雑誌 2,135 千円
 DVD・CD等 556 千円)
- * 資料費(R 1) 11,194 千円 (対前年比 98.7%)
 (うち図書費 8,547 千円 新聞・雑誌 2,079 千円
 DVD・CD等 568 千円)

VI 資 料

図書館沿革

- 1) 幡多文庫時代
明治 39 年 4 月 幡多郡教育会の創設した「幡多文庫」を中村小学校内に設置する。
- 2) 幡多図書館時代
大正 4 年 4 月 「幡多文庫」を「幡多図書館」と改称、旧塩務局跡へ移転する。
- 3) 中村町立図書館時代
大正 13 年 4 月 中村町は、幡多教育会より図書館の寄附を受け、「中村町立図書館」とする。

昭和 4 年 2 月 優良図書館として文部省より表彰される。
昭和 10 年 8 月 大洪水のため図書多数被害を受ける。
昭和 19 年 1 月 NHK中村中継放送所を開設するため館舎を譲り、休業中の町営公益質屋倉庫(現小姓町)へ移転する。

昭和 21 年 12 月 南海大震災のため、仮館舎(町営公益質屋倉庫)が倒壊して蔵書は大被害を受ける。以後休館する。

昭和 23 年 4 月 町営本町寮二階(現本町3丁目)を仮館舎として再開する。
12 月 警防団屯所を小姓町(現裁判所前)に移転し、その階上を図書館とする。
- 4) 中村市立図書館時代
昭和 29 年 3 月 ① 市制施行とともに「中村市立図書館」となる。
昭和 30 年 1 月 公民館分館へ巡回文庫を開始する。
12 月 警防団屯所が移転したので、階下に子供読書室を開設する。
昭和 31 年 1 月 開架式閲覧方式を開始する。
4 月 蔵書目録を作成する。
9 月 NHK中村中継放送所の移転により、もとの館舎へ復帰する。
昭和 32 年 2 月 読書グループへの貸出文庫を開始する。
昭和 33 年 4 月 日曜日開館を廃止して、夜間開館(月水金、午後6時～9時)を開始する。
「増加図書目録」を発行開始する。

昭和 34 年 12 月 中筋地区(有岡)へ配本所を設置する。
昭和 35 年 1 月 子供分室を前館舎(警防団屯所)階上に開設する。
昭和 37 年 8 月 富山地区(大用)へ配本所を設置する。
昭和 38 年 11 月 大川筋地区(川登)へ配本所を設置する。
昭和 41 年 11 月 小・中学校読書感想文コンクールを開始する。
- 5) 中村市立図書館時代
昭和 44 年 9 月 ② 中村市大橋通4-10へ、新館落成する。
11 月 「中村市史」(正編)出版する。
昭和 45 年 4 月 郷土資料展示室を開室する。
5 月 母と子の読書室での紙芝居、読み聞かせを開始する。
貸出方式をブラウン式にかえる。
複写サービスを開始する。
10 月 第3回高知県図書館大会を開催する。
昭和 46 年 4 月 視聴覚室を開設する。
昭和 49 年 10 月 「幡多史料を語る会」の発足により事務局となる。
昭和 50 年 4 月 坂本清馬蔵書、寄託される。
昭和 51 年 5 月 視力障害者用テープ作成開始する。(現在はボランティア組織で作成)
昭和 54 年 5 月 市内保育所に絵本の貸出文庫を開始する。
昭和 57 年 10 月 身体障害者閲覧(連絡)室を開設する。(その後、新聞閲覧・電話帳室に変更)
昭和 58 年 1 月 「幡多史料を語る会」第100回を開催する。
昭和 59 年 4 月 「中村市史」続編を出版する。
昭和 62 年 3 月 浜田文庫開設(浜田初広氏蔵書)。
6 月 冷暖房設備設置。
7 月 坂本文庫開設(坂本清馬氏蔵書)。
昭和 63 年 8 月 福山文庫開設。
- 平成 3 年 9 月 第1、3日曜日午前中(9時～12時)開館を開始する。
平成 4 年 3 月 大野文庫開設(大野関夫氏寄贈による)。
7 月 こりす文庫開設。
11 月 国際ソロプチミスト幡多文庫開設(以後、毎年大活字本の寄贈を受ける)。

平成 5 年	7 月	図書館広報「図書館だより」(隔月)を発行開始する。
平成 6 年	2 月	田中文庫開設(田中一氏蔵書)。
	4 月	幡多郷土資料館を所管する。
平成 9 年	6 月	県立図書館自動車文庫の利用、貸出を開始する。(四万十市合併後、終了)
平成 10 年	4 月	毎週土・日曜日を開館し、月曜日を休館日とする。 開館時間を10時から18時とする。(それまでは9時開館) 「朝の読書」の取り組みを始める。
平成 11 年	4 月	貸出券作成対象者を幼児から0歳児まで拡大する。
	5 月	2階書庫を移動式書架にする。
平成 14 年	9 月	1歳9か月健康診査時にブックスタート事業を開始する。(県補助事業:3年間で終了。その後、市単独)
平成 16 年	11 月	雑誌の館外貸出禁止期間を1週間に統一する。

6) 四万十市立図書館時代 ①

平成 17 年	4 月	四万十市発足により『四万十市立図書館』となる。 開館時間を朝9時とする。
	10 月	第33回高知県図書館大会を開催(於:サンリバー四万十)する。
平成 18 年	4 月	蔵書目録の電子化に取り掛かる(データ整理、TRCマークへ)。
	6 月	巡回文庫を西土佐地域に拡大する。
	7 月	個人貸出限度冊数を変更(5冊⇒10冊)。
平成 19 年	4 月	図書館だよりを月刊で復刊する。
	8 月	蔵書目録電子化事業に関連して、TRCに購入先を一本化する。
平成 20 年	8 月	新図書館(新市庁舎)建設に着手する。
平成 21 年	12 月	図書館システム納入業者決定する。
平成 22 年	3 月	新市庁舎完成(2階部分が新図書館)。 図書館(旧館舎)での貸出終了する。
	4 月	新館への引越作業のため休館する。
	5 月	図書館(旧館舎)解体。

7) 四万十市立図書館時代 ②

平成 22 年	7 月	図書館新館オープン。 管理運営システム稼働。
平成 23 年	1 月	幸徳秋水刑死100周年記念事業の一環として冊子『幸徳秋水』を発行する。
	9 月	「幸徳秋水特別展 伝次郎から秋水へ」を開催する(9月10日～9月25日、中央公民館)。
平成 24 年	3 月	「中村の100年写真展」を開催する(3月29日～4月8日、中央公民館)。
	4 月	子ども読書活動優良実践図書館として、文部科学大臣表彰を受ける。
	11 月	「四万十市子ども読書活動推進計画」を策定する。
平成 25 年	3 月	「中村の100年写真展パート2」を開催する(3月27日～4月7日、中央公民館)。
平成 26 年	5 月	指定管理者制度導入検討開始。
平成 26 年	7 月	西土佐分館移転オープン。
平成 26 年	8 月	「中村の100年写真展 総集編」を開催する(8月7日～8月15日、中央公民館)。
平成 27 年	3 月	四万十市立図書館協議会から、指定管理者制度導入を可とする答申が出る。
	9 月	指定管理者募集。

8) 四万十市立図書館時代 ③

平成 28 年	4 月	株式会社図書館流通センターが図書館指定管理者となる。 毎週月曜日・祝日を閉館とする。 本館の開館時間を19時までとし、1時間延長する。
平成 28 年	10 月	雑誌最新号の館外貸出を禁止とする。 (季刊については、登録後1か月間禁止とする。)
平成 29 年	5 月	雑誌の貸出期間を1週間から2週間とする。
令和 2 年	3 月	新型コロナウイルスの流行により64日間臨時休館とする。
令和 3 年	9 月	本館、無料Wi-Fiサービスを開始。
令和 5 年	2 月	分館、無料Wi-Fiサービスを開始。

== 参考 == 図書館サービス実績 (指 標)

区 分		R4	R3	R2	R1(H31)	H30
1. 登録率	$\frac{\text{登録者数(市内)}}{\text{人口}}$ (%)	13.30 (11.45)	13.33 (12.06)	13.70 (11.81)	15.00 (12.73)	7.30
2. 市民1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}}$ (冊)	4.25	4.41	3.88	4.26	4.89
3. 登録者1人当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$ (冊)	31.97	32.56	28.29	28.37	67.05
4. 1日当り貸出点数	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$ (冊)	399.36	418.34	426.58	447.20	485.31
5. 蔵書回転率	$\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$ (回)	0.80	0.85	0.77	0.87	1.04
6. 市民1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{人口}}$ (冊)	0.07	0.10	0.11	0.13	0.17
7. 登録者1人当り図書増加冊数	$\frac{\text{年間増加冊数}}{\text{登録者数(市内)}}$ (冊)	0.51 (0.59)	0.77 (0.87)	1.26 (0.81)	0.87 (1.22)	2.28
8. 市民1人当り蔵書数	$\frac{\text{蔵書数}}{\text{人口}}$ (冊)	5.35	5.21	5.05	4.88	4.70
9. 市民1人当り図書資料費 (予算)	$\frac{\text{図書資料費(年)}}{\text{人口}}$ (円)	350.85	346.25	342.22	253.02	250.53
10. 市の人口 (4/1現在)	(人)	32,225	32,653	33,020	33,396	33,728
		R4	R3	R2	R1(H31)	H30